



CommunicationNews

広報誌の名称を少しやわらかい名称に変更しました。
宗谷南農協通信を横文字に変えただけですので、今まで同様にご愛読をよろしくお願いいたします。
横文字は「コミュニケーションニュース」と読み日本語にすると「伝達・連絡・通信の新しいお知らせ」となります。



今年の枝幸町への流氷の初接岸は、1月24日でした。
(写真は給食センター付近よりドローンにて撮影)

- 新規就農者辻野さん紹介
- 松本参事定年退職のご挨拶
- 浜田新参事就任のご挨拶
- 新採用職員紹介
- JA宗谷南女性部通常総会
- JA宗谷南青年部通常総会

- ピッカピカの一年生紹介
- 第1回理事会議案等
- JAの存在意義を考えるシリーズ
- 組合員資格確認のお願い
- 職員資格試験取得者状況

酪農家を目指して

北海道で暮らしたい！



今回、ご紹介するのは4月より枝幸町で酪農経営を開始しました「辻野倫太郎」さん、「朋美」さん、ご夫妻とお子様の「泰匠(たいしょう)」君と「晁丞(おうすけ)」君です。

お二人の、出身地は倫太郎さんは神奈川県横浜市。朋美さんは和歌山県御坊市。出身地の違う二人が出会ったのはお互い大阪で会社員となり、別々の会社に勤めていた時、偶然に会社帰りの飲食店で出会い意気投合し、いつしか飲み友達となりその後いつしか将来を共に誓う仲となられたようです。

二人で酪農家を目指したきっかけは、家族で北海道旅行で知床に行った際に見た素晴らしい景色に感動し何としても北海道で暮らしたいという思いが沸いてきて、帰ってすぐに大阪の「ふるさと暮らし情報センター」に相談したところ、酪農がいいですよと紹介してくれたことがこの度につながりました。未経験でしたが、私たちが理想とする暮らしを実現できるのが酪農だと信じ、知床旅行から半年後には、北海道へ移住していました。

全くゼロからのスタートでしたので、初めての研修先を浜中町就農者研修牧場に入り1年3か月酪農のノウハウを学び、今回の就農先となった今井牧場には身内から知人のついでで知り見学したことがきっかけとなり昨年4月から1年間の研修を経て今回の就農に至りました。

研修中に苦労したことは、やはり牧草収穫での機械の操作やメンテナンス、また天気予報の読みなど乳量に直結する粗飼料の確保に大変四苦八苦した経緯があり、まだまだ未熟者ですので実践あるのみです。

今後目指す酪農や生活スタイルは、先代(今井氏)が積み重ねてこられたことを大切に受け継いで牛を健康に飼い、おいしい牛乳を搾っていきたいと思っています。またこの暮らしがいつまでも幸せと感じられるよう子供たちとの時間を大切にしながら末永くこの酪農を続けられるよう頑張ります。

最後になりますが、「ここに無事に就農できたのは、JA宗谷南組合長様始め、職員の皆様、枝幸町役場の方々、関係各位、地域の皆様と、就農に向けてのご理解、ご協力、ご尽力のおかげです。本当に有難うございます。」と感謝の言葉を述べています。「これからも日々、精進していきますのでご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いします。」と話す倫太郎さん、朋美さん、ご夫妻でした。

※二人の夢がかないましたが、これからは本格始動です。農作業事故等には十分留意し家族皆健康で明るい酪農家となりますよう祈っています。

松本参事 定年退職のご挨拶



春寒しだいに緩むころ、組合員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、私事でございますが、令和6年2月末日をもちまして定年退職を迎えましたので紙面をお借りし一言お礼申し上げます。

わたくしは、昭和55年4月に旧歌登町（のちに歌登農協）に奉職し、営農部営農課を皮切りに金融課、管理課と通算約29年勤め、平成21年3月、旧北見枝幸農協と合併し、宗谷南が誕生しそこからは、共済課長、管理部長、最後3年間は参事職を仰せつかり農協職員として43年11か月を無事勤めさせていただきました。これも偏に入組間もない自分に農協とは、を一から教えて頂いた事で今があると思います。すでにお亡くなりになられた諸先輩の皆様は沢山おります。また現在もご存命の皆様もおります。また合併してからの役員の皆様、組合員の皆様大変世話になりありがとうございました。

昭和55年4月1日初仕事は、今も忘れられませんが、当時の搾乳戸数113戸の乳量の全体計画を記した折線グラフを作成しました。昼からは定温倉庫にて越冬していた馬鈴薯を先輩と名寄の青果市場に運んだ記憶が今でも鮮明に覚えています。そして4月21日の初給料の金額。馬鈴薯については10年近く続いたと思いますが、生産農家も数件あり収穫期の2か月ほどは定温倉庫へこもって、発送用の箱詰め、袋詰めを休日返上での毎日が懐かしく思い出されます。また旧農協時代は、負債整理資金が始まったばかりでのちに大家畜資金等に名称が変わっていきましたが、資金借入の対策を行っていました。パソコンも無い時代で最後の金額が合わなければ全部消しゴムで消さなきゃならないのには苦労したものです。貯金の渉外活動も随分行いました。街の中では「私達一般の人が農協に貯金してもいいのですか？」と言う時代でしたが、昭和60年頃には、宗谷管内の貯金担当者が北見枝幸農協に集まり街の中を区割りして貯金渉外実践型研修を行いそこから宗谷管内も渉外活動が本格化され今では、170億円を超える貯金量となっています。

合併後は、共済課長時代には東日本大震災が発生し医療共済、牛舎、倉庫の建更、トラクター共済など皆さんに保障の必要性を訴えて加入していただき目標達成も出来ました。管理部長時代は北海道胆振東部地震によるブラックアウトを経験し発電機の重要性を認識させられました。事業面ではメカニックサービスの閉鎖などコスト削減を重要視しながらの財務基盤強化を図りました。その当時にアグリサポート枝幸に生乳生産施設「ファームAYNI」を立ち上げ離農、休農対策のためには今でも重要なポジションと確信しています。最後の3年の参事時代ですが結局、合併時の乳量の目標6万トンには達成できませんでしたが、新規就農もあります減る農家戸数に対し規模拡大、増頭などで組合を助けて頂きありがとうございました。また残念ではありましたが歌登支所金融共済部門の本所統合による支所の閉鎖を余儀なくされましたが組合員皆様の格別なるご理解に感謝申し上げます。

最後になりますが、まだまだ厳しい酪農情勢は続くと思われませんが、谷があり山もあります。令和7年度から第5次中期5か年計画が開始されます。浜田新参事のもと是非6万トンに達成できる中期計画が作成されますようご期待申し上げます。

わたくしも、微力ではございますがもう少しJA宗谷南に奉仕させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。定年退職としての挨拶とさせていただきます。



浜田参事 就任のご挨拶

参事就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

この度、松本参事の定年退職に伴い、3月1日付で参事職の命を受け職責の重大さを痛感しております。

平成21年3月1日宗谷南農協がスタートし15年が経過し、その間我が国は、異常気象等による激甚的な災害の発生、コロナウイルスの発生など数々の苦難、困難を乗り越えて参りましたが、令和6年1月1日に能登半島沖を震源とする地震が発生し新たなる苦難となっておりますが、今もなお被災されておられる方々に対しましてお見舞い申し上げます。近年の酪農を巡る情勢は、依然として配合飼料の高止まり、資材価格等の高騰と厳しい状況が続いております。

合併以降、組合員の離農等もある中、当農協の事業利益や当期剰余金が着実に増加され、盤石なる財務基盤を成していることは、組合員皆様の農協事業に対してのご理解、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

今後におきましても、組合長をはじめ、役員の方々、組合員の方々、職員の皆様に支えて頂きながら職責を全うしたいと思っております。

引き続き、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げますご挨拶と致します。

新採用職員紹介



氏 名：鳥谷部 公生（とりやべ こうせい）
配属部署：営農部 営農課
出身地：枝幸町

この度、4月より営農部営農課に配属になりました。入ったばかりで分からないことが沢山ありますが、分からないことを一つずつ確実に覚えていき、一日も早く皆さんの力になれるよう頑張っていくので、ご指導よろしくお願い致します。

～先輩からのメッセージ～

入組してから未だ日も浅く、多くの不安を抱えていることと思います。そんな中で分からないことがあれば知ろうとする姿勢が感じられ、とても素晴らしいと思います。焦らず一つずつ仕事を覚えていき、将来は自信をもって仕事ができる職員になって下さい。

J A 宗谷南女性部通常総会

令和6年3月15日、酪農振興センター会議室で第15回通常総会が開催されました。

来賓には、宗谷南農協浜田参事が出席されました。

昨年度は数年活動休止をしていたグループ活動を再開させ園芸・手芸・料理の3つのグループを作り、各グループごと企画を立て活動しました。

また、女性部として初めて、ひがし宗谷農協女性部との交流会を開催し、他農協の状況や女性部の活動等をお互いの報告の中で親睦を深めました。

乳製品消費拡大の一環として「よくばりフェスタ」での乳製品販売や、10月には数年ぶりに生活工夫展を開き、手作りの作品を持ち寄り鑑賞しました。ミルクランド北海道東京へのイベント参加等も積極的に行いました。

規約の一部変更を含む4議案が全て承認され無事、総会が終了しました。

今回は総会終了後、参加された方たちで会食をし今後の女性部の在り方等を話し合いながら令和6年度に向けての抱負などで話の花が咲きました。



J A 宗谷南青年部通常総会

令和6年3月21日、酪農振興センター会議室で第15回通常総会が開催されました。

来賓には宗谷南農協山本部長が出席されました。

山本部長挨拶では、近年インフレによる相次ぐ物価上昇、石川県能登半島地震など暗いニュースが多い中、乳価上昇や生産調整もなくなり、明るいニュースもあることから、今年度は特に頑張って搾って行きましょうと前向きな挨拶を頂きました。

昨年度については、新型コロナウイルスの5類へ移行に伴い、地域行事が再開され、「歌登サマーフェスタ」、「よくばりフェスタ」にて牛乳の無料配布を行い、牛乳消費活動を再開することができました。また、3月には「北海道酪農・畜産危機突破緊急集会」11月に「JA北海道大会実践フォーラム」に参加し、他団体と連携し関係性を強固とすることで一致団結し酪農危機を乗り越えようとする活動報告を行いながら、提出された4議案全て承認となり、今年度の活動については、今まで行っていた食育活動の再開や地域行事や他団体と連携しイベント協力を積極的に行うことやさらなる部員増加を目標としました。令和6年度に向け抱負を語り合いました。





祝 ピッカピカの一年生 ご入学おめでとうございます！

本幌別地区 関口牧場

関口 こまち ちゃん(父:真也さん)

陽気で明るいこまちちゃんは、小学校で何が楽しみかと聞くと、運動会が楽しみと答えてくれました。

お父さんからは、独創性豊かなこまち、勉強も運動も頑張っねとの事でした。



志美宇丹地区 (株)大塚牧場

大塚 ^{さえ} 紗英ちゃん(父:一三さん)

元気いっぱいである紗英ちゃんは小学校で頑張りたいことは、学校の勉強全部頑張りたいと明るく答えてくれました。

お父さんからは、健康で楽しい学校生活を送って下さいとの事でした。



岡島地区 井出牧場

井出 ^{あさひ} 旭 君(父:康太さん)

小学校で何を頑張りたいかと聞くと、運動を頑張りたいと答えてくれました。

お父さんからは、好きな事を見つけてどんどんチャレンジして欲しいと願っていました。



岡島地区 辻野牧場

辻野 ^{おうすけ} 昶 丞 君(父:倫太郎さん)

小学校で何を頑張りたいかと聞くと、体育とバスケットボールを頑張りたいと答えてくれました。

お父さんからは、失敗しても諦めず、そしていつまでも元気で明るく、優しい子になって欲しいと言ってました。



風烈布地区 真壁牧場

真壁 ^{ゆい} 結衣ちゃん(父:哲也さん)

小学校で何を頑張りたいかと聞くと、体育を頑張りたいのと一輪車に乗れるようになりたいと答えてくれました。

お父さんからは、挨拶がちゃんと出来て優しい子になってもらいたいと言ってました。



風烈布地区 石川牧場

石川 ^{かなで} 奏ちゃん(父:竜也さん)

小学校で何を頑張りたいかと聞くと、漢字を頑張って覚えたいのと一輪車に乗れるようになりたいと答えてくれました。

お父さんからは、挨拶の出来るしっかりした子になってもらいたいと言ってました。



風烈布地区 米田牧場

米田 ^{かいと} 海斗 君(父:徹さん)

小学校で何を頑張りたいかと聞くと、算数と運動を頑張りたいと答えてくれました。

お父さんからは、何事も諦めずに頑張る子に成長してほしいと願っていました。



風烈布地区 石川牧場

佐藤 ^{るき} 琉輝 君(父:良介さん)

小学校で何を頑張りたいかと聞くと、勉強と運動を頑張りたいと答えてくれました。

お父さんからは、元気で明るく、友達思いの子に育って欲しいと言ってました。



JAの存在意義を考えるシリーズ 第1回「協同の原点」 6回連載します

大正5年、本道の中央部にある某村において、産業組合が発足した。設立当時、組合員数は、42名で、1口の出資金は200円であった。米一俵の価格が6円の時代である。

事業の主なもの、生産資材の共同購入による購買事業と、貸付金、貯蓄による信用事業であったが、中でも貸付は資金に枯渇していた組合員から非常に喜ばれた。

この組合には独立した事業所が無く、組合長宅を事務所としていた。昭和6年、購買事業を拡充するため、近所の商店を購入し店舗とした。この時初めて専任職員を雇い入れて、生産資材のみならず、生活物資も取り扱うようになった。

設立後まもなく米の販売事業にも取り組んでいたが、その関連として農業倉庫の経営を始めたのは昭和9年である。

組合員は、多くの苦難と戦いながら積極的な協同活動の中で産業組合の基盤を築き上げていった。

TEAM WORK



第1回理事会 開催月日令和6年3月27

- 【決議事項】
1. 信用担当理事の決定について
 2. 職務代理順位の決定について
 3. 支所規程の廃止について
 4. 準職員就業規則の改正について
 5. 第15回通常総会及び組合員懇談会の日程について
 6. 定款の一部変更について
 7. 「組合員・利用者本位の業務運営（FD）」に関する取組方針の制定について
 8. 貸出条件緩和債権基準金利の設定について
 9. 令和6年度経営定期点検実施計画について
 10. 令和6年度コンプライアンス・プログラムについて
 11. 雌雄判別精液を利用した雌子牛増頭事業実施及び実施要領の一部改正について
 12. 資金の貸付について
 13. (株)アグリサポート枝幸への取締役の派遣について

- 【監査関連報告事項】
1. 監事による資産査定監査報告について
 2. 令和5年度「農業振興・JA運営ヒアリング（経営監査）」報告について
- 【報告事項】
1. 「JAバンクの内部管理体制構築にかかるとの変更に関する指針」
 2. 資産査定及び引当金について
 3. 令和5年度コンプライアンス・プログラム実践状況報告について
 4. 令和5年度疑わしい取引の届出状況報告について
 5. 令和5年度組合員の加入・脱退状況の総括について
 6. 令和5年度年間経営定期点検実施報告について
 7. 2月末乳質状況及び生乳受託販売実績について

組合員資格確認のお願い

当JA定款規定により、組合員加入申し込み時の提出書類事項に変更があった場合や、組合員資格に変動等があった場合は、その旨を届けてもらうことになっています。

つきましては、組合員資格・氏名・住所・電話番号等の届け出事項に変更・修正があった場合は、当JA本・支所窓口へのお申し出いただきますようお願い致します。

〔当組合員の組合員資格〕

1 正組合員資格

- (1) 5ヘクタール以上の土地を耕作する農業を営む個人であって、その住所又はその経営に係る土地若しくは施設がこの組合の地区内にあるもの
- (2) 1年のうち150日以上農業に従事する個人であって、その住所又はその従事する農業に係る土地又は施設がこの組合の地区内にあるもの
- (3) 農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつその資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。）であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

2 准組合員資格

- (1) この組合の地区内に住所を有する個人で、この組合の事業を利用することが適当と認められるもの
- (2) この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区内に勤務地を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの
- (3) この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区外に住所を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの
- (4) 農業組合法人等この組合の地区内に住所を有する者が主たる構成員となっている団体で協同組織のもとに当該構成員の共同の利益を増進することを目的とするものその他この組合又はこの組合の地区内に住所を有する者が主たる構成員又は出資者となっている団体であって、この組合の施設を利用することが適当であると認められるもの

※当組合の目的地区は、北海道枝幸郡枝幸町一円の区域とする。



JA職員資格試験取得者 5年度末状況(正職員37名)



当組合では、職員のスキルアップを図るべく毎年資格試験受験の奨励を行っています。下記については、合格者は重複しますが、下記中にある「特級」及び「内部監査士」の合格率は、非常に低いものとなっている中で、昨年「特級資格」1名合格されました。

	初級	中級	上級	特級	内部監査士
合格者	32名	25名	22名	1名	4名
取得率	86%	68%	59%	3%	10%